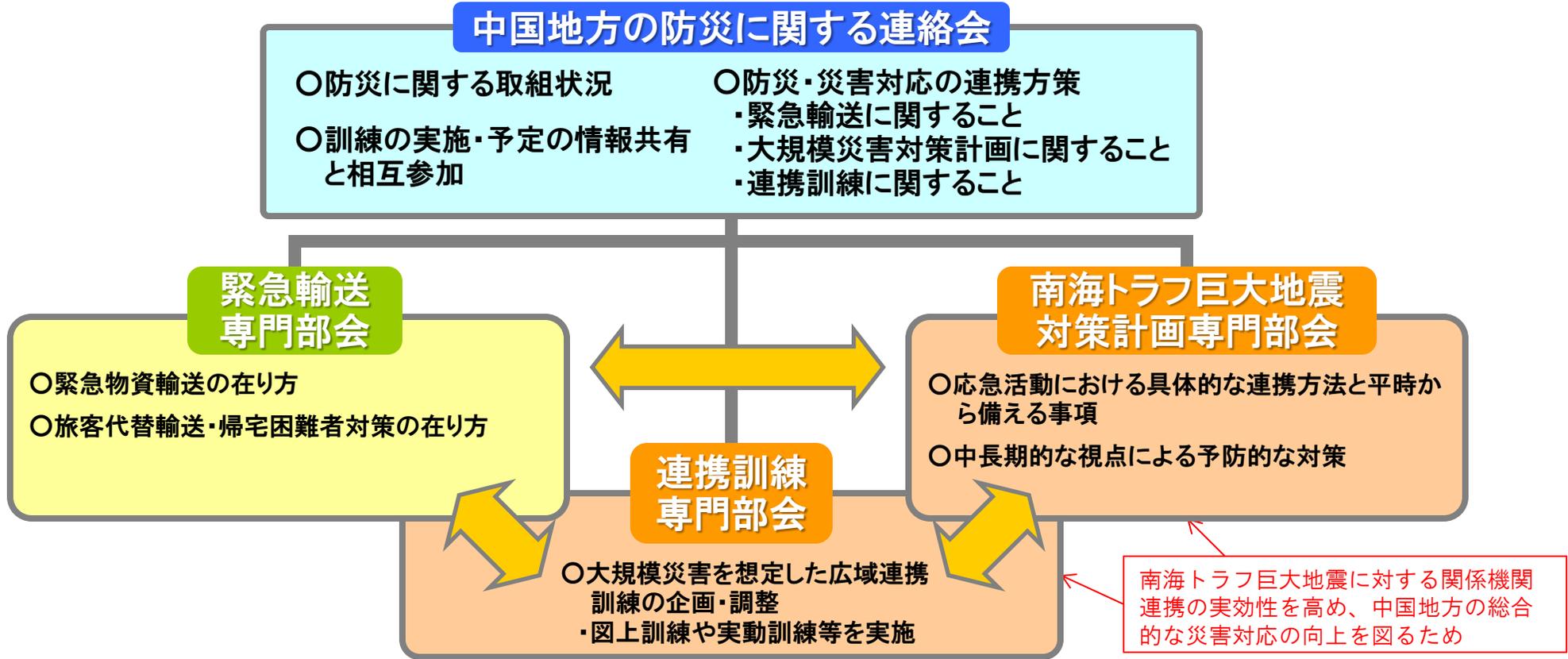


◇南海トラフ巨大地震対策に関する専門部会の取り組み

1. 中国地方における南海トラフ巨大地震対策の検討体制

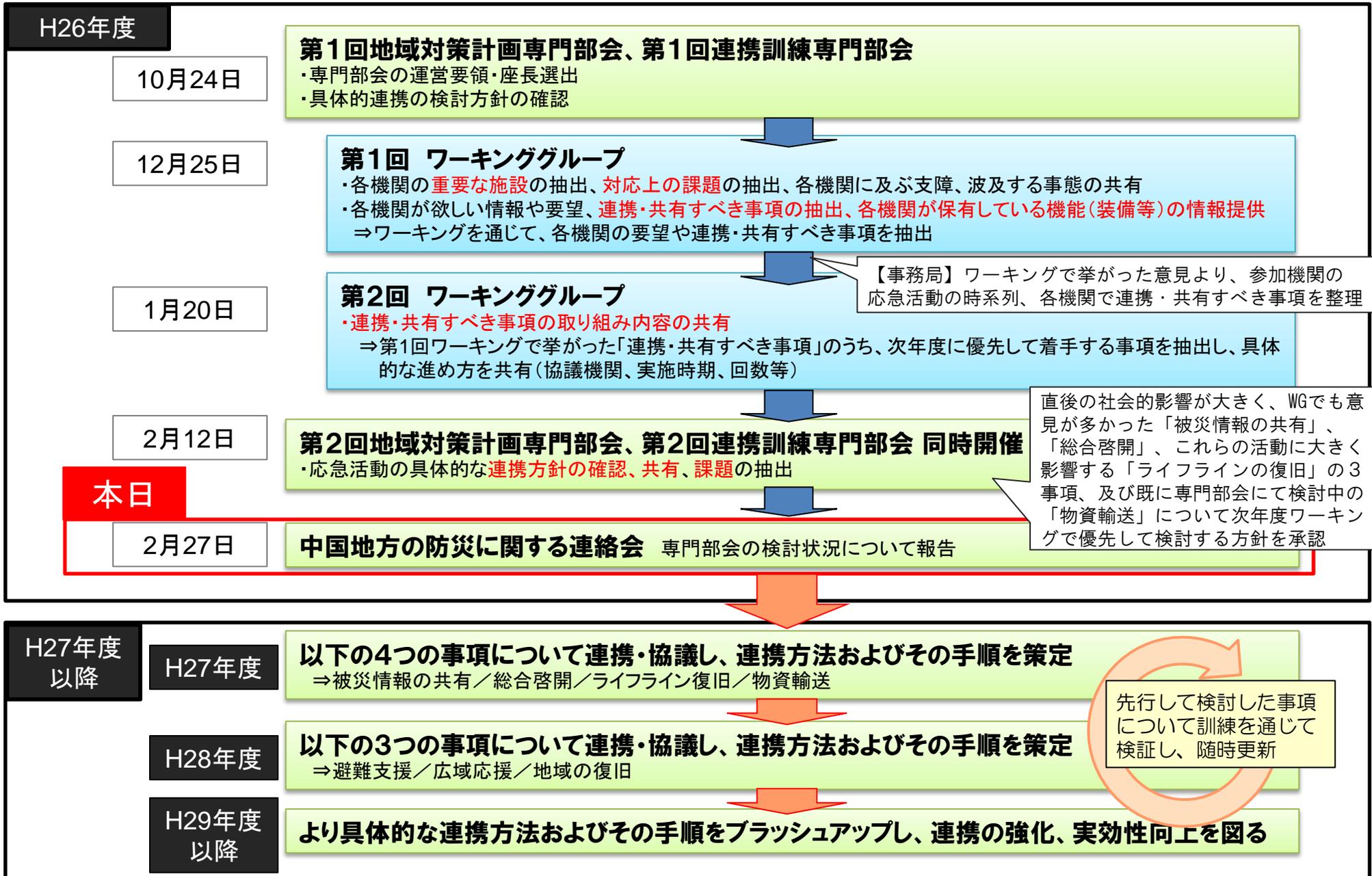


第1回 南海トラフ巨大地震対策計画専門部会、連携訓練専門部会
(平成26年10月24日設置)開催の様子



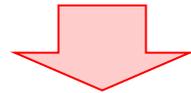
第2回 南海トラフ巨大地震対策計画専門部会、連携訓練専門部会
(平成27年2月12日)開催の様子

2. ワーキンググループ・専門部会の開催状況及び今後の予定



3. 中国地方における南海トラフ巨大地震対策の進め方

- ✓ **中防連の全構成機関(51機関)**により、被災後の機関ごとの課題抽出
- ✓ 応急活動のテーマを設置し、テーマ毎に、個別WGを実施



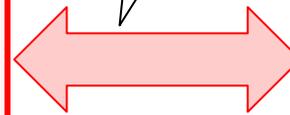
中国地方 地震・津波防災対策WG成果：

「応急活動のテーマごとの具体的な連携方法およびその手順(案)」

各県、関係機関に関わる内容を抽出し、反映

各県の
地域防災計画

各機関の
防災計画



4. ワーキンググループおよび専門部会の結果報告

◆第1回WGの実施内容 (広島市をモデルケースに実施)

8班（各班6名程度）
に分かれてグループワーク

- ①南海トラフ巨大地震時の被害想定を参加者で確認した上で、各機関の重要な施設、各機関に及ぶ支障、波及する事態を抽出・共有した。
- ②各機関が欲しい情報、連携・協議すべき事項、各機関が保有している機能(装備等)の情報を抽出・共有した。



被害想定を
参加者で確認



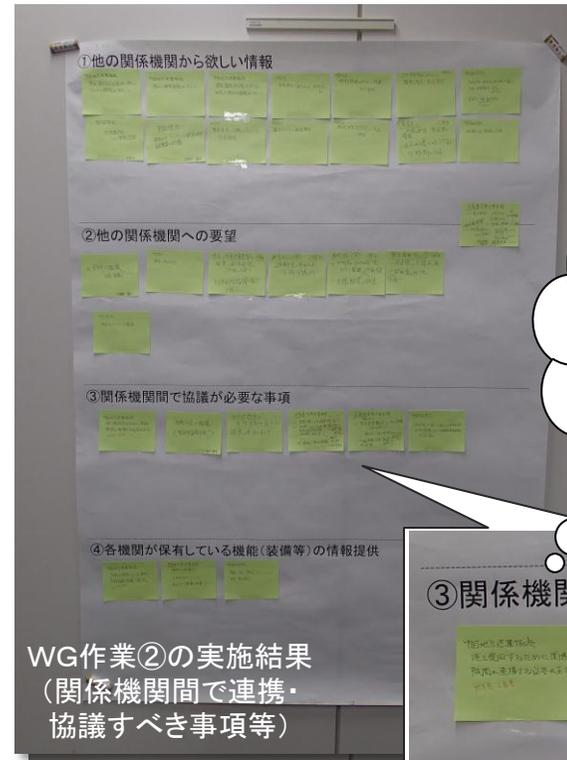
重要施設をふせんに
書き、図面に貼付



重要施設や支障を
各班のメンバー間共有



WG作業①の実施結果
(広島市内の被害様相図)



WGで出されたキーワード
「避難支援、道路啓開、航
路啓開、施設復旧、広域応
援、燃料、物資輸送、通信
(電気、ガス等)、廃棄物、
情報共有体制」等

③関係機関間で協議が必要な事項

WG作業②の実施結果
(関係機関間で連携・
協議すべき事項等)

第1回WGの実施状況

4. ワーキンググループおよび専門部会の結果報告

◆第2回WGの実施内容 (広島市をモデルケースに実施)

8班 (各班6名程度)
に分かれてグループワーク

連携・協議すべき
7つの事項

1. 避難支援
2. 被災情報の共有
3. 総合啓開
4. 広域応援
5. 物資輸送
6. ライフライン復旧
7. 地域の復旧

①第1回WGの整理結果の共有

⇒関係機関で連携・協議すべき7つの事項を抽出し、共有

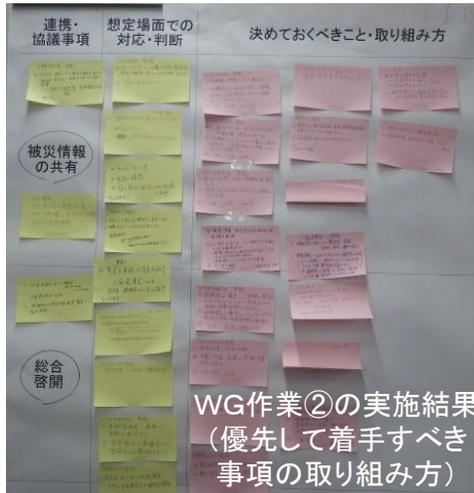
②連携・共有すべき事項の取り組み内容の共有

⇒第1回WGで挙げた「連携・共有すべき事項」より、『被災情報の共有』『総合啓開』『ライフラインの復旧』の3つを優先して着手すべき事項として選定し、具体的な進め方を協議(各事項の「実施機関」、「具体的な検討・取り組み事項」、「取り組み方」等)



事前に決めることや
取り組み方を、ふせんに
書き、各班で共有

第2回WGの実施状況



各班より進め方等
の協議結果を発表



▶ 次年度に優先して着手する3つの事項『①被災情報の共有』、『②総合啓開』、『③ライフラインの復旧』を選定し、検討中の『④物資輸送』を加えて具体的な進め方を協議した



第2回地域対策計画専門部会、第2回連携訓練専門部会にて結果報告



▶ 得られたWGの意見を基に、事務局にて具体的な進め方と全体スケジュールを検討提案し、第2回専門部会にて承認を得た

